



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 142

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		介護強化型ケアハウスの建築物等定期検査	2	所	362
		ベネッセケアハウス今川のウッドデッキ修繕	1	所	370
				所	
				所	
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	施設の昇降機及び建築設備定期点検などを実施するとともに、ベネッセケアハウス今川のウッドデッキ修繕を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内における高齢者人口は平成12年は83,620人(高齢化率16.28%)でしたが、平成23年には104,566人(高齢化率19.42%)と高齢者人口は増加の一途を辿っています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	入所を希望する区民からの問い合わせが多く寄せられています。
	今後の予測	区内における高齢者人口は平成28年には112,544人(高齢化率20.83%)と今後も更に高齢者人口の増加が予測されます。それに伴い、高齢者の状況にあった施設サービスの需要が高まることが予想されます。
	評価と課題	特別養護老人ホームの代替施設として機能し、区民のサービス選択肢を拡大しているこの施設の果たす役割は大きいものがあり、また、PFI事業として実施することにより、民間事業者の活力等を導入し、施設を整備してきました。今後は、この施設の維持・管理を続けます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
		開設から年数を経て、各設備の耐用年数等から補修・取替えを行う必要があります。引き続き、施設・設備の状況を的確に把握し、必要な修繕を行うなど適切な維持管理を行います。また、運営事業者の事業評価を的確に行い、サービス水準の向上につなげます。				

特記事項	
------	--

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		介護老人保健施設運営		款	4	項	1	目	2	事業	5	整理番号	143	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	管理係 施設整備推進担当		連絡先電話番号	3233		昨年度整理番号	148			
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部高齢者施策課		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 介護保険法第8条第25項 (2) 借地借家法第22条					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○リハビリテーション、看護、介護等の医療ケアと日常生活上のサービスを併せて提供することにより、高齢者の自立を支援し、家庭復帰と在宅ケアを目指すことができるようにします。						活動指標名(式)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○独立行政法人都市再生機構が所有する敷地(桃井三丁目)を、区が一般定期借地権設定契約により賃借し、介護老人保健施設シーダ・ウォークの運営を行う社会医療法人河北医療財団に転貸借する。						成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
				成果指標名(1)		(代) 要介護2~5の認定者数に対する介護老人保健施設整備床数の割合								
				算定式・指標の説明等										
				成果指標名(2)										
				算定式・指標の説明等										
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		24年度計画	
指標	活動指標(1)	①	所	1	1	1	1	1	1	1	100.0			
	活動指標(2)	②	床	318	318	318	318	318	318	318	100.0			
	成果指標(1)	③	%	2.98	3.16	3.15	2.97	2.96	2.72	99.7				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	23,377	23,569	23,409	23,356	23,218	23,173	23年度予算執行率%		99.4		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 成果指標の「要介護2~5の認定者数」は、計画は各年4月末現在の数値、実績は各年9月末現在の数値を使用しています。				
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.20 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	888	892	892	890	890				1,780	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	24,265	24,461	24,301	24,246	24,108	24,953					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	24,265,000	24,461,000	24,301,000	24,246,000	24,108,000	24,953,000					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	23,377	23,569	23,409	23,356	23,218				23,173	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0	
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0				0	
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0				0	
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	23,377	23,569	23,409	23,356	23,218				23,173	
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	888	892	892	890	890	1,780					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	96.3	96.4	96.3	96.3	96.3	92.9						

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 143

23年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		介護老人保健施設敷地転貸借	1	所
(1) 主な取組み				
	その他 ( )			0
(2) 事業実績	契約書に基づき、賃料の改定を含め、独立行政法人都市再生機構の所有地を社会医療法人河北医療財団に転貸借しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内における高齢者人口 平成14年 87,991人(高齢化率16.93%) 平成23年 104,566人(高齢化率19.42%)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区内にさらに、介護老人保健施設の整備を求める要望があります。
	今後の予測	区内における高齢者人口 平成28年 112,544人(高齢化率20.83%)
評価と課題	一般定期借地権設定により、事業者は介護老人保健施設の安定的な運営が可能となっています。区は、50年間にわたり土地の転貸借の事務処理を的確に行う必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現 状 維 持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
今後も契約書に基づき、土地の転貸借の事務処理を継続します。						

特記事項	
------	--

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	高齢者保健福祉施策の推進	款	4	項	1	目	2	事業	6	整理番号	144	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	係名	管理係			連絡先電話番号	1162			昨年度整理番号	149	
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部高齢者施策課							予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度							<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ○高齢社会の抱える課題に対し、総合的な検討を行い、施策立案に向けた取り組みや計画の策定を行います。				根拠法令等	(1) 介護保険法 (2)					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で生活できる環境づくりや生活支援を行い、安全と安心感を高めます。 ○高齢者が生涯現役でいきいきとした生活を送ることを支援します。				活動指標名(式)	(1) 高齢者実態調査件数 (2) 高齢者のしおり発行部数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○介護保険事業計画の策定 ○高齢者を熱中症から守る緊急対策事業 ○新しい特養のあり方検討 ○安心おたっしや訪問 ○高齢者実態調査(実施年度:22年度) ○「高齢者のしおり」の発行(実施年度:21年度)				成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
	成果指標名(1)	区が高齢者福祉施策に力を入れていると評価している区民の割合										
	算定式・指標の説明等	区民意向調査による										
	成果指標名(2)	(代) 高齢者実態調査票の回収率										
	算定式・指標の説明等	回答数÷調査件数(3年に1度実施、次回24年度実施予定)										
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %	
			実績		計画	実績		計画(目標値)	実績			
指標	活動指標(1)	①	件		9,644	9,644						
	活動指標(2)	②	冊	95,000	0	0		0	0	95,000		
	成果指標(1)	③	%	5.3	10.0	7.7		10.0	7.6	10.0	76.0	
	成果指標(2)	④	%		80.0	70.0						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	18,245	8,394	6,363		20,176	17,172	25,657	23年度予算執行率% 85.1	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0		0	0	0	特記事項 ※活動指標及び成果指標について 23年度は、当該年度に実施した事業についての活動指標がないため、成果指標(1)以外は記載できません。	
	(内)委託費	⑦	千円	8,680	5,154	3,969		3,702	1,291	10,622		
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.41 0.00	3.20 0.00	3.13 0.00		7.50 0.00	7.50 0.00	7.80 1.00		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	30,277	28,544	27,920		66,750	66,750		69,420
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0		0	0		3,080
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	48,522	36,938	34,283		86,926	83,922	98,157		
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		3,830	3,555						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0		0	0		0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0		0	0		0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0		15,000	12,932	0		
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0		0	0	0		
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0		15,000	12,932	0		
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	48,522	36,938	34,283		71,926	70,990	98,157		
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0			

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 144

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		第5期介護保険事業計画策定			
		新しい特養等のあり方検討			492
		高齢者を熱中症から守る緊急対策事業			12,933
		安心おたっしや訪問事業			2,649
		その他（高齢者施策の普及啓発、管理事務費）			997
	(2) 事業実績	第5期介護保険事業計画については、パブリックコメントを経て平成24年3月に策定しました。高齢者を熱中症から守る緊急対策事業については、都の補助金を受け、熱中症予防の普及啓発のため、リーフレット、啓発グッズを訪問事業等を通じて配布しました。新しい特養のあり方については、南伊豆健康学園跡地での特養整備が可能か調査検討を行いました。安心おたっしや訪問事業については、75歳以上で要介護認定を受けていない方で2年以上医療を受けていない方など、支援を必要とする可能性が高い高齢者11,485名を訪問しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者人口(高齢化率):昭和63年 57,858人(11.07%)⇒平成23年 104,568人(19.41%) ひとり暮らし高齢者:昭和63年 2,546人⇒平成23年 18,509人 介護保険認定者数:平成12年度 8,653人⇒平成23年度 19,567人
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	おたっしや訪問事業への意見としては、いっしょに配布した熱中症対策グッズが訪問対象者分なかったり、真夏にマスクを配ったりしたため、訪問の趣旨を理解してもらう前にさまざまな苦情を受けることになりました。一方、地域の民生委員やケア24の職員とのつながりができたため、社会的に孤立しそうな単身高齢者世帯の区民から安心の声が聞かれました。
	今後の予測	高齢化率の上昇に伴い、今後は、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加するものと考えられます。高齢者が生涯現役でいきいきとした生活を送るための支援、サービスの利用促進を図るための施策の重要性はますます高まると思われまます。
	評価と課題	安心おたっしや訪問事業については、11,485人(目標値11,000人)を訪問し、そのうち683件について適切なサービスにつなげるなど、事業目的は十分達成することができました。今後は、より効率的な訪問方法とすることや関係課との連携で、地域情報の活用等、より効果的な孤立死防止対策を構築することが課題です。 新しい特養のあり方については、区域外の特養整備について、関係機関と協議の上、計画上の位置付けや入所の仕組みなど、これまで検討してきた課題も含め整理することが必要です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
高齢化率の上昇に伴い、高齢者保健福祉事業の重要性は高まるため、各取組において業務の効率化を図ります。						

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 145

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		NPO等介護保険事業者資金貸付の件数	0	件	0
(2) 事業実績	平成23年度は資金貸付を申請した法人はなく、平成19年度から平成23年度までの5年間の実績は、平成21年度に訪問介護事業所を運営する事業者に1件(1所)貸付を行ったのみでした。				
	その他 ( )			0	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年に介護保険制度が発足した時から比べるとNPO法人が新たに介護保険事業に参画する数も減少しており、NPO等介護保険事業者資金の貸付は事業開始時と比較すると、貸付件数は減少しています。過去5年間の実績を見ると、21年度に1件の貸付がありましたが、それ以外は実績がありません。貸付実績件数:12年度4件(5所)、13年度1件(1所)、14年度3件(4所)、15年度2件(3所)、16年度5件(5所)、17年度1件(1所)、21年度1件(1所)。その内事業廃止が3件(4所)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	介護事業従事者は低収入と聞いているので、その層への拡充のため、緊急融資を行ってほしいとの意見がありました。
	今後の予測	過去の実績や現在の介護保険を取り巻く状況では、NPO法人が新たに介護保険事業に参入することはあまり期待できず、今後の貸付申込事業者も少ないものと予測されます。
評価と課題		NPO等介護保険事業者からの貸付申込は減少しており、平成23年度はありませんでした。現在の介護保険を取り巻く状況の中で、NPO法人が新たに介護保険事業へ参入してくることは期待できないことや平成21年度から東京都がNPO法人を対象とした貸付事業を開始しており、今後、貸付事業を継続するか検討する必要があると思われます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
ここ5年間の実績は平成21年度に1件あっただけであり、また、平成21年度より東京都がNPO法人等を対象とした「福祉施設設備等貸付事業(介護保険法及び障害者自立支援法に基づく事業を新たに開設する法人に対し、事業開始当初に必要な運営資金を低利子で貸し付ける事業)」を開始しているため、本事業の役割について、検討する必要があるものと思われます。			

特記事項	
------	--





# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 146

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		特別養護老人ホーム上井草園運営補助金交付	1	所	4,120
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	特別養護老人ホーム上井草園の運営に対する補助金を交付しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度より施設運営を介護報酬による自主運営とし、平成16年4月からは民営化施設となりました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	「東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金」が継続する場合は、それに準じて予算措置を行う必要があります。
	評価と課題	特別養護老人ホームの運営が一般的に厳しいといわれている中、民設民営の特別養護老人ホームに対する東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金に準じた形で公設民営施設である特別養護老人ホーム上井草園に対し補助金を交付することで、運営法人の経営基盤を強化できました。引き続き、上井草園が民設民営の施設と同水準のサービスを確保していくこと及び医療対応強化支援の取組みによりサービス水準が向上するよう支援をしていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
		「東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金」は民設民営の特別養護老人ホームを対象としているため、公設民営施設である特別養護老人ホーム上井草園は当該補助金の対象となりません。そのため、民設民営の施設と同じ水準のサービスを確保していくためにも都補助金に準じた補助金を交付する必要があります。今後についても、「東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金」が継続する場合は、それに準じて補助金を交付していく方針です。				

特記事項	
------	--

## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	まちの湯ふれあい入浴			款	4	項	1	目	2	事業	9	整理番号	147			
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	152				
(平成23年度担当部課名)				保健福祉部高齢者施策課				予算事業区分	既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	49	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>○高齢者同士の親睦を深めることにより、社会参加、交流を広げることができる憩いの場となるようにします。</p> <p>○身近である公衆浴場で、まちの湯健康事業に高齢者が参加することで、健康増進が図られ、リフレッシュはもとより、介護予防につながるようになっていきます。</p>					活動指標名(式)	(1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○毎週水曜日(一部火曜日)に各浴場の決められた時間帯(2時間)を100円で開放する。</p> <p>○月1~2回、手ぬぐい体操などの健康事業を行い、実施後、参加者は100円で入浴できる。長寿応援ポイント事業。</p>					成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
	成果指標名(1)	ふれあい入浴1回当たりの利用者数			算定式・指標の説明等	年間延べ利用者数÷実施回数			成果指標名(2)	まちの湯健康事業1回当たりの参加者数			算定式・指標の説明等	年間延べ参加者数÷実施回数		
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	①	人	102,335	103,170	95,265	93,600	88,963	87,360		95.0					
	活動指標(2)	②	人	3,946	4,340	4,208	4,290	5,697	5,700		132.8					
	成果指標(1)	③	人	58	64	61	60	61	60		101.7					
	成果指標(2)	④	人	10	11	12	11	16	12		145.5					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	64,621	63,844	58,313	58,935	54,105	58,948		23年度予算執行率%		91.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0		特記事項 活動指標(1)平成24年度計画 人数減少の理由:浴場数が2所 減少しているため					
	(内)委託費	⑦	千円	64,582	63,804	58,274	58,890	54,105	58,890							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,552	3,568	3,568	3,560	3,560	3,560						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	68,173	67,412	61,881	62,495	57,665	62,508							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	666	653	650	668	648	716							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		⑮	千円	4,890	4,890	4,890	4,890	4,890	4,880							
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	4,890	4,890	4,890	4,890	4,890	4,880							
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	63,283	62,522	56,991	57,605	52,775	57,628							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								



## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		風呂っと杉並		款	4	項	1	目	2	事業	10	整理番号	148	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	153			
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部高齢者施策課		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 50歳以上の区民		根拠法令等		(1) 杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱 (2)								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○健康増進や生きがいを目的とした50歳以上の高齢者の自主グループに対し、浴場がグループの地域活動拠点となるように、高齢者の交流を推進していきます。		活動指標名(式)		(1) 風呂っと杉並事業を実施する浴場数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○区内の公衆浴場を50歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場によって異なる)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業(杉並浴場組合自主事業)に要する経費について、運営費を助成する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
				成果指標名(1)		1所あたりの1か月の利用者数							算定式・指標の説明等	
				成果指標名(2)									算定式・指標の説明等	
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績							
指標	活動指標(1)	①	所	13	17	14	15	14	15	93.3				
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	人	17	18	10	15	9	13	60.0				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,965	4,320	2,023	4,070	2,120	4,070	23年度予算執行率%	52.1			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行残の理由 利用回数が減少したため				
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.15 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,332	1,338	1,338	1,780	1,780	1,780				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	4,297	5,658	3,361	5,850	3,900	5,850					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	330,538	332,824	240,071	390,000	278,571	390,000					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円	2,360	2,160	2,160	2,035	2,035	2,035					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	2,360	2,160	2,160	2,035	2,035	2,035					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	1,937	3,498	1,201	3,815	1,865	3,815					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 148

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		風呂つと杉並 事業運営費助成	14	所	2,120
(2) 事業実績	その他 ( )				0
	事業のPRを強化しましたが、実施回数231回、利用者数1,619人と、前年度実績 実施回数236回、利用者数1,701人を下回りました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆浴場数 昭和49年度 111所 → 平成22年度 31所→平成23年度 30所</li> <li>・風呂つと実施浴場 13年度 9所 → 23年度 14所</li> <li>・公衆浴場組合では、平成23年度から、ポスター、チラシ、広報掲載により、区民への風呂つと事業周知に努めています。</li> </ul>
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近所なので集まりやすい。気軽に利用できるのがいい。
	今後の予測	周知活動にも関わらず、実施回数、利用者数ともに減少傾向にあります。
評価と課題		高齢者が自主的な活動や交流の拠点となるように支援していますが、事業の認知度が低く活用されていない現状があります。平成23年度に行った周知活動の効果をみながら、利用者数を伸ばす対策を浴場組合とともに講じていくことが課題です。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
利用者の実態を把握しながら、浴場組合と意見交換をし、これからの支援方法や地域へのPR方法について協議していきます。						

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 149

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		いきいきクラブ助成金	78	団体	26,421
		福祉大会及びスポーツ大会分担金	1	団体	400
		指導者研修会及び都市交流懇談会	1	団体	100
		その他（旅費、需用費、役員費）			14
	(2) 事業実績	<p>いきいきクラブ(78クラブ)が、社会奉仕活動や友愛活動(12,442回)、健康増進活動(7,826回)、生きがい活動(9,721回)を実施しました。</p> <p>いきいきクラブ連合会及び地区連合会(10地区)で、福祉大会8回(7地区7回、連合会1回)、スポーツ大会10回(1連合会6回・2地区4回)、健康づくり教室10回(1連合会1回・9地区9回)、東吾妻町との交流懇談会等を実施しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和33年→3クラブ(60歳以上人口29,907人)で開始。</p> <p>平成5年→96クラブ、会員数12,071人(60歳以上人口95,172人、クラブ加入率12.6%)(会員数のピーク)</p> <p>平成10年→100クラブ、会員数11,606人(同107,118人、同10.8%)(クラブ数のピーク)</p> <p>平成21年→81クラブ、会員数6,778人(同134,259人、同5.0%)</p> <p>平成22年→80クラブ、会員数6,459人(同137,464人、同4.6%)</p> <p>平成23年→78クラブ、会員数6,255人(同139,851人、同4.5%)</p> <p>高齢者人口は年々増加しているが、クラブ数及び会員数、60歳以上人口にしめる加入率は年々減少しています。平成21年度から国及び都の要綱改正に伴い、1クラブあたりの会員数を「50人以上」から「30人以上」に改正しました。</p>			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>○高齢者の生きがい活動の場として、また引きこもり防止の活動場所として、いきいきクラブの存在は不可欠です。</p> <p>○趣味に合ったサークル活動を行っている団体等がどこにあるのかわかりません。</p> <p>○クラブ会員の高齢化が目立ち、若い世代の高齢者が入会せず、クラブ役員を担う後継者がいません。</p>			
	今後の予測	<p>若い世代の高齢者の加入は少なく、クラブ会員の平均年齢は79.7才となりました。役員の高齢化、後継者難が続いていますが、クラブの活動内容にも変化がみられます。サークル活動に自主的に参加しにくくなり、とじこもりがちな会員に、いきがいを感じてもらう活動内容に取り組むクラブもあります。今後は、このような対象者への積極的な働きかけが必要です。</p>			
	評価と課題	<p>ゆうゆう館利用の状況や長寿応援ポイント事業の利用状況から、いきいきクラブ活動は、高齢者の社会参加に一定の成果をあげています。老人クラブ加入者の減少は全国的な傾向で、多様なライフスタイル、価値観をもつ若手の高齢者には、いきがいの場は、多種多様な選択肢が広がっています。地域に発信できるクラブの魅力をつくりだし、高齢者の関心、興味のある活動を展開することが課題です。</p>			
改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止		
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更		
	<p>加入者の減少はあるものの、依然として高齢者へ活動の場を提供し、情報発信する役割を担っています。現状を踏まえて、活動内容が活発化するよう区は支援します。</p> <p>今後は、働く高齢者も増え、高齢期が長くなることに応じた、高齢者のいきがい活動の支援のあり方全体を再構築する必要があります。その中のひとつとして、いきいきクラブへの支援のあり方について検討していきます。</p>				
特記事項					



## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	シルバー人材センター支援	款	4	項	1	目	2	事業	12	整理番号	150	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1166			昨年度整理番号	155	
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部高齢者施策課							予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	54	年度							<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 公益社団法人杉並区シルバー人材センター					根拠法令等	(1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援します。					活動指標名(式)	(1) 就業実人員数 (2) 月平均会員数(各月末会員数の和÷12月)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。					成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
		成果指標名(1)	契約件数		算定式・指標の説明等	月単位で実績のあった受託件数の累計						
		成果指標名(2)	会員の就業率		算定式・指標の説明等	就業実人員数÷月平均会員数						
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績					
指標	活動指標(1)	①	人	1,908	2,082	2,071	2,100	2,052	2,240	97.7		
	活動指標(2)	②	人	2,869	3,000	2,994	3,000	3,003	3,200	100.1		
	成果指標(1)	③	件	8,090	8,326	8,250	8,330	8,361	8,567	100.4		
	成果指標(2)	④	%	69.2	69.4	69.2	70.0	68.0	70.0	97.1		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	165,828	175,277	167,955	178,227	171,812	181,337	23年度予算執行率% 96.4		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	<b>特記事項</b> シルバーの中長期計画に使用される指標に合わせるため、24年度から成果指標(1)を「契約件数」に変更します。(21年度数値より差替え)。		
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	2,220	2,230	2,230	2,670	2,670		2,670	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	168,048	177,507	170,185	180,897	174,482	184,007			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	88,075	85,258	82,175	86,141	85,030	82,146			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0	
都からの補助金等		⑮	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495			
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495			
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	155,553	165,012	157,690	168,402	161,987	171,512			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 150

23年度の事業実施状況	内 容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み	シルバー人材センター運営助成				166,812
	その他 ( シルバー人材センター運用資金貸付金 )				5,000
(2)事業実績	シルバー人材センターの事業周知支援として、広報すぎなみに事業案内記事を計61回掲載しました。センターはゆうゆう館の協働事業運営等の公共的な事業426件、民間事業所の事業5,048件、一般家庭の事業12,563件を受託し、947,559千円の事業収入を得ました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○総人口(区)に占める60歳以上の区民の割合:昭和54年 8.57% ⇒平成23年4月 26.16% ○シルバー人材センター会員数:昭和54年度 1,280人⇒平成23年度末 3,038人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○施設利用者を対象に昨年に続き、公共施設アンケート調査を行い、概ね良い評価を得ました。頂いた意見は、今後の就業に活かすよう努めていきます。 ○リサイクル自転車販売に従事する会員の対応と、販売した自転車に対する苦情がありました。
	今後の予測	会員数については、今後も高齢人口の増加や団塊の世代の加入により伸び続けますが、経済・雇用情勢の悪化を受け、契約金額が減少する傾向が予想されます。会員数に応じた就業機会の確保、就労内容に応じた会員の能力育成が課題となっています。また、公益社団法人として、様々な知識や経験が豊富な高齢者の地域貢献活動を通して、一人ひとりの意欲や能力を社会に活かしていくという点で、シルバー人材センターの果たす役割は、ますます大きなものとなり、その活動への期待も高まっています。
評価と課題	シルバー人材センターの会員登録数は、目標の3,000人を越え、3,038人となりましたが、震災の影響等により、事業件数が伸びない期間がありました。しかし、最終的には契約件数、就業実人員の微増により、就業率は67.5%となりました。また、利用者アンケート調査結果では向上がみられています。今後は高齢化する会員の就労適性の評価と、就労ニーズに応えられる会員の職種転換を促すシルバーの取組が課題です。	

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
○シルバー人材センターは公益法人の認定を受け、高齢者の就業と社会貢献意欲に応えるため、「中長期方針2012」を策定しました。新しい計画は長期計画を5年間、中期計画を3年間とし、センターが取り組むことのできる現実的な計画としました。「地域に信頼され、高齢者自らも生活感の充実が実感できる組織体を目指す」ことを目標に、事業内容を変更して取り組みます。 ○就業活動と地域貢献活動を通して、高齢になっても社会参加しやすい場づくり・つながりづくりに貢献するよう、区は支援を継続します。			

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 151

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉の樹大学	1	所	3,488
		高齢者のための起業支援・就業支援	1	所	2,744
				回	
				回	
(2) 事業実績		その他 ( 社会貢献スタッフ派遣、高齢者いきいき事業協働推進連絡会 )	50		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42%、平成元年11.44%、平成20年18.68%、平成23年19.72%</p> <p>○平成23年度は、高齢者活動支援センターが改修工事中があったために、活動団体及び活動数が減少しています。</p>
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>○杉の樹大学は杉並を知ることができた、新たな友人ができたなど大変好評です。</p> <p>○一人暮らしや、家に閉じこもっている方の外出先について、問い合わせがあります。</p>
	今後の予測	<p>○高齢化が進むなか、地域で暮らす高齢者がいきがいを持って生活していくために、参加しやすい事業が求められます。区は高齢者一人ひとりの外出のきっかけづくりや団体の活動の場の提供などの支援をしていきます。</p>
評価と課題		<p>杉の樹大学、社会貢献スタッフ派遣事業では、60歳以上のスタッフが経験や能力をいかして活動し、地域の高齢者の健康、いきがい向上に貢献しています。今後も高齢者による社会貢献につながる活動の支援は重要です。また、就職にこだわらず能力を活かしたい高齢者の方も多く、「就職」と、「地域活動」の間にある活動(例:NPO活動等)を指向する傾向があります。多様な働き方や活動の創出に向けた事業展開が課題です。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	<p>○平成23年度より、手ぬぐい体操、健康エアロピクスの社会貢献スタッフが、ゆうゆう館で自主グループや協働事業の講師として活動しています。今後も、高齢者が地域の活動でリーダーや講師となって、地域貢献するとともに、自らのいきがいともなるよう社会貢献スタッフ派遣事業の維持と発展について検討していきます。</p> <p>○平成25年度より、杉の樹大学企画・運営事業の委託契約先が平成24年度に行われるプロポーザル方式で選定された団体に変更になります。</p>					

特記事項	
------	--